

2025 日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」

第49回クリスマスチャリティー公演

“こころの劇場” 劇団四季ミュージカル

カモメに飛ぶことを教えた猫

「カモメに飛ぶことを教えた猫」あらすじ

夏のある日、黒猫ゾルバは、ひん死のカモメ、ケンガーと出会います。彼女の「私の卵を食べないで」「ヒナがかえるまで面倒をみて」「ヒナに飛ぶことを教えて」という訴えを、すべてをかけて叶えると誓うゾルバ。やがて苦労の末、ヒナのフォルトゥナータが誕生しますが、自分を猫だと思い込み、なかなか飛ぼうとしません。急がないと町には厳しい寒さがやってきてしまいます。さらにチンパンジーのマチアスがひどい難題をつきつけてきました。かわいいフォルトゥナータのため、ゾルバはある決断をするのですが…。

2025年11月19日～12月23日 全国18会場

2025年12月11日 山口市民会館

主 催 日産労連（全日産・一般業種労働組合連合会）
特定非営利活動法人 日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」
後援(予定) 内閣府、こども家庭庁、日産自動車株式会社、日産自動車販売協会
協賛(予定) 社会福祉法人全国社会福祉協議会
日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」会員企業/団体

クリスマスチャリティー公演

『こころの豊かさを求めて』

幸せを求めること、それはすべての人間に与えられている権利です。しかし世の中には困難とたたかっている子どもたちが多勢います。私たちはできることから何かをしなければならないと思います。

ところが、普段私たちは案外こういうことを忘れて^{なま}っているのではないのでしょうか。

私たち日産労連は、「劇団四季」の協力を得て、日頃生の舞台に接する機会の少ない子どもたちのために、観劇会を催すことになりました。

幸せは、お金や物だけで得られるものではありません。こういう機会を通じ、子どもたちの心に「目に見えない豊かさ」が育まれることを願っております。

この公演は、日産労連が結成以来、力を注いできた福祉活動の一環として、1976年（昭和51年）からハンディキャップのある子どもたちへのクリスマスプレゼントとして実施しています。

劇団四季の「青い鳥」で第1回公演をスタートしてから、本年度で50年を迎えることになりました。上の文章は、第1回公演の開催趣旨で、心を大切に考える日産労連の福祉活動の基本となっています。

劇団四季の舞台は、演出・音楽・舞台装置・衣装などすべての要素にハイクオリティーなパフォーマンスを維持し、“勇気”“愛”“友情”“平和”などの人生に欠くことのできないテーマが盛り込まれた、素晴らしいステージです。

しかし、いろいろな障がいにより、日常ではミュージカルなどの舞台芸術とは疎遠な方も多く、この公演を初めて経験した方からは次のような感想をいただいております。

映画やお芝居は見に行きたくても、車イスでは入場できないなど座席の問題や、体全体で喜んで騒いだときの周囲への気遣いなどで、なかなか息子を連れて行くことができないのが現状です。でも今回は、周囲の皆さんも観ながら踊ったり歌ったり、とても賑やか。好きなように感じるままに、会場全体が舞台の一部と化していました。

さらに約2時間の舞台が終わると、客席・舞台・それを支えるスタッフ一体となったフィナーレへと続きます。参加者は、障がいの有る無しに関係なく、お互いに感動を共にした仲間と感じ、喜び合う姿に出会います。

従来から組合員参加で会場作りを行っておりますが、近年はボランティア活動参加の入り口として捉えております。また、組合員以外の方からの協力も募り、地域的な活動となるよう進めています。

昨年までの50年間で1,131回の公演を開催し、48,542施設、約135万人の方々に参加いただきました。

そして本年は、全国18都市で開催する運びとなりました。皆さまのご協力によりさらに活動の輪を広げ、多くの子どもたちの心に夢と希望を届けて行きたいと思っております。

1. 日産労連の福祉活動

私たち日産労連（全日産・一般業種労働組合連合会：組織人員 12.1 万人）は、1955 年の組合結成以来助け合いの精神に基づき、福祉活動に力を注いでまいりました。労働運動は弱いものや困っている人たちを守り、より多くの人たちが幸せに暮らせる社会をつくるためにあると考えるからです。

1965 年、「健康で働けることの幸せ」を職場に訴え、ハンディキャップのある子どもたちを援助する「愛のカンパ」を始めました。そして、1976 年に組合員一人毎月 100 円の拠出による「日産労連福祉基金」を創設し、さらに福祉活動を充実させてまいりました。

特に労働組合の相互扶助の精神を基に、健全な地域社会の発展と障がい者福祉を支える環境作りとして進めている「福祉文化活動」は活動の中心となっています。

福祉文化活動には、ハンディキャップのある子供達を本格的な舞台に招待する「クリスマスチャリティー公演」の他に、全国のハンディキャップのある子どもたちの施設を巡回して人形劇をプレゼントする「チャリティーきやらばん」があります。

2. 特定非営利活動法人 日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」

特定非営利活動法人 日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」は、日産労連が中心となり設立したNPO法人です。

この法人は、日産労連の「福祉文化活動」を継承し、広く地域社会に広めることで、ハンディキャップのある人と共に「心の豊かさ」を育み、相互扶助の精神を地域社会に根付かせ、日本における社会福祉の向上を目指すことを目的としています。